

特集号「グリーン科学・技術に関わる炭素材料」投稿募集

「炭素」編集委員会
 主担当委員 木島正志
 担当委員 宮嶋尚哉
 斎藤幸恵

環境とエネルギーに関する問題は、人類が先に進むかぎり同時に克服していかなければならない重要課題です。炭素材料に関与する私たちが日ごろの研究、試験、商品・工業化、生活・社会利用、廃棄、再生の各段階で環境・エネルギー問題への真摯な対応が必要とされています。とりわけこの問題を意識して前面に掲げた炭素分野が「エコカーボン」です。2005年に本誌では、環境負荷軽減、廃棄物の再利用、未利用天然資源の有効活用など、資源・エネルギーの循環社会環境の構築にかかわる炭素の知識を共有して、エコケアな炭素研究と産業が促進されるように、特集「エコカーボン」を企画・発刊いたしました。その後エコ意識が高まるなか、社会ではIT革命とナノテクノロジーの急激な発展が起きました。その結果、インターネット・携帯機器等の普及率が急上昇し、社会は超距離的で時間節約型の便利なものに変貌しました。炭素分野では特に電池・バッテリー・キャパシタに関する物質開発と目覚ましい技術革新により社会に多大な貢献をしてきましたが、斬新なITとナノテクはエコという面を目立たなく古臭いものとして片隅に押しやってしまった感があります。しかし、IT革命後の社会が便利になればなるほど、エネルギー消費量は増大することになり、人類は、循環型エネルギーシステムの構築とその高効率利用を余儀なくされることになりました。

本特集では、環境に関わる前特集からちょうど10年が経過し、直面している深刻な環境・エネルギー問題に対して私たちがどのような対応をすべきかを確認する目的で、「エコ」ならび「グリーン」を志向する炭素に関する研究成果を幅広く募集いたします。本誌上で知識の共有を図り、この分野の研究・産業がさらに発展することを期待します。

投稿方法：はじめに、下記の応募締切日までに炭素材料学会編集事務局へ投稿のご予定をご連絡ください。そのうえで、「炭素」投稿規程・投稿の手引きに従って原稿を作成し、特集号への投稿であることを明記のうえ、原稿締切日までに投稿ください。

応募締切：2015年5月8日(金)

投稿原稿の区分、タイトル、著者、連絡先を明記のうえ、炭素材料学会編集事務局(tanso-edit@bunken.co.jp)へ電子メールにてお申込みください。郵送にて下記住所にお送りいただいても結構です。

原稿締切：2015年6月30日(火)

原稿の区分：論文(刷上り6頁以内)、ノート(Short Paper)(同3頁以内)、総合論文(同10頁以内)、総説(同10頁以内)、技術報告(同3頁以内)、資料(同3頁以内)

内 容：上記分野についての内容であること。原稿の区分の説明については投稿規程をご覧ください。

審 査：応募原稿は、通常の炭素誌への投稿原稿と同様の審査を行う。

掲 載：炭素270号(2015年11月発刊予定)

投稿規程・投稿の手引き：<http://www.tanso.org/contents/journal/notice2013.pdf>

申込・問合せ先：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19

(株)国際文献社内 炭素材料学会編集事務局

TEL: 03-5389-6492 FAX: 03-3368-2830 E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp